

# 令和二年度 医学研究助成金受賞者紹介

## ミトコンドリアタンパクのアセチル化を介した循環器疾患形成機序の解明

熊本大学大学院生命科学研究部  
循環器内科学 助教 有馬勇一郎



この度は肥後医育振興会医学研究助成金を賜り、誠にありがとうございます。選考委員の先生方や関係者の皆様、ご推薦頂きました循環器内科学の辻田賢一教授に心より御礼申し上げます。

私は循環器内科を専門としながら、代謝に注目した研究を進めています。細胞は糖や脂肪酸をエネルギー源として利用することが知られていますが、第三のエネルギー源として、ケトン体も利用することが知られています。ヒトの心臓におけるケトン体の利用率については、研究を開始した時点で実測した報告はなかったため、我々は心臓カテーテル検査を行う際に採取した、動脈血と心臓の静脈血(冠静脈)を利用し、血液が心臓を通過する際に、どの程度のケトン体が消費されるかを測定しました。

検討の結果、およそ三割程度のケトン体が心臓を通過する間に消費されることが明らかになりました。加えて心筋虚血状態では利用率が著しく低下することを確認し、心臓における代謝がダイナミックに変化していることを確認しました。

本助成金を励みに、さらなる解析を進め、医学の発展に貢献できるよう日々努力して参りたいと思っております。

\* \* \*

## RNAヘリケースによるp-Loopの制御を介した腫瘍発症抑制メカニズムの解明

熊本大学病院 中央検査部  
医員 平山 真弓



この度は肥後医育振興会医学研究助成金を賜りまして、誠にありがとうございます。選考委員の先生方や関係者の皆様、生命科学研究所臨床病態解析講座、分子生理学講座、歯科口腔外科学講座の皆様、心より御礼申し上げます。

本年度より熊本大学病院中央検査部に所属し、臨床病態解析講座で造血器腫瘍の発生メカニズムの解明に取り組んでいます。近年、RNAヘリケースをコードする遺伝子の変異が造血器腫瘍で報告されており、p-Loopと呼ばれる不安定な核酸の構造変化を誘発することに病原性があると考えられています。p-Loop形成に至るまでの詳細な機序は未だ明らかではありません。p-Loopがどのように悪性腫瘍の病態と関わるのか、これが解明されることで治療標的としての可能性も期待できるため、大学院生時代に培った核酸操作の技術を活かし、解明に努めた

いと考えております。

本奨励賞を頂いたことを励みに、今後さらに研究を進展させ、新たな発見と医学の進歩に貢献できるよう邁進して参りたいと思っております。この度は誠にありがとうございます。

\* \* \*

## 総胆管結石症における内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)後膵炎の発症リスクについての多施設共同後ろ向き試験

熊本市民病院 消化器内科  
齊藤 宏和



この度は肥後医育振興会医学助成金ならびに学術奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。選考委員の先生方や関係者の皆様、ご推薦を頂いた熊本市民病院の高田明院長に感謝申し上げます。

私は市中病院に勤務しながら、総胆管結石症における内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)後膵炎の発症リ

スクに関する臨床研究を行っています。

ERCPは胆膵疾患の内視鏡治療において必須の手法ですが、ERCP後膵炎を併発する頻度が高く(五十%)、重症化した場合には致命的になることがあります。特に、総胆管結石症は良性疾患であるため、特にERCP後膵炎のリスクを十分に考慮し、事前に患者・家族に詳細な説明を行ったうえで治療を行い、ERCP後膵炎のリスクが高い患者では積極的な予防的処置を講じる必要があると考えています。

私たちはこれまでに総胆管結石症に対するERCPに関する研究成果を国内外の学会や国際誌で発表してきました。今後、総胆管結石症におけるERCP後膵炎のリスクを症状や各疾患に着目し、多数例で詳細に検討することで、それぞれの患者に応じたERCP後膵炎の予防や詳細な事前説明が可能になると考えております。

今回の受賞を励みに、日常診療に有益な研究成果が発信できるよう、精進したいと存じます。

# 令和二年度 外国人留学生奨学金受賞者紹介

熊本大学大学院医学教育部  
消化器外科学 博士課程二年

魏 峰



この度は肥後医育振興会外国人留学生奨学金をいただきました。ありがとうございます。これまで諸先輩方のご指導やラ

のメンバーたちの協力があってこそ、いただけた賞だと思っております。私は中国出身です、医療関係の仕事をしている家族の影響で医学に興味を持つようになり、将来医学研究を行いたいと考えております。日本の医学研究者たちが世の中に大活躍しており、他国より数十倍の研究結果を挙げまして、